

窪田理容美容専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
衛生専門課程	トータルビューティシャン科	2026年度	1年
講義区分	授業科目名	担当教員	単位数
一般教養必修	サロン実習と接客技術	佐々木 他	1.5単位

【授業の到達目標及びテーマ】

・ビジネスマナーを理解し、業界における接客の技術を習得し、サロンで必要不可欠なコミュニケーション能力を身に付け、実務実習にて課題を明確にすることを目標とする。

【講義概要】

サロンの接客業務・救急法を学び、ロールプレイングにより、接客スキル向上させていく。また、ブレinstーミングにより、接客に対する思いを共有していく。

回 【授業計画及び学習の内容】

- 1 接客の基本③
- 2 サービス接遇の必要性の理解③
- 3 言葉遣い・接客用語・よさね言葉③
- 4 立ち居振る舞い・身だしなみ③
- 5 電話対応②
- 6 サロンによる接客法1③
- 7 救急法の基本、救助者の心構え①
- 8 救助者の行ってはいけないこと、サロンでのアクシデント①
- 9 応急手当の方法、救急箱の設置、止血法の実際、三角巾の活用法①
- 10 一次救命処置の具体的な方法、気道異物除去①
- 11 傷病者の移動、回復体位①
- 12 救急法まとめ ※学力能力判定試験
- 13 サロンによる接客法2④ ※報告書①
- 14 サロン実習・オリエンテーション③
- 15 サロン実習⑩ ※報告書②
- 16 サロン実習 クリティーク③

【成績評価の方法】

授業への参加を単位認定のための基礎条件とし、下記内容により評価する。

(前期)学力能力判定試験

(後期)サロン実習報告書①・モニター実習報告書②

学力能力判定試験及び授業態度により総合的に評価

【授業の特徴・形式と教員紹介】

講義形式で学び、ロールプレイング、グループディスカッション等、演習時間を取り入れ、サロン実習へ向けた授業を展開していく。担当教員は多店舗経営の美容室で人事も手掛けた経験を持つ。

教材 プリント

窪田理容美容専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
衛生専門課程	トータルビューティシャン科	2027年度	2年
講義区分	授業科目名	担当教員	単位数
一般教養必修	サロン実習と接客技術	佐々木 他	1.5単位

【授業の到達目標及びテーマ】

・1年次に習得した接客技術をベースにそれぞれの業界における接客の技術を習熟し、就職に向けたサロン研究を行う。社会人として対応できる能力を身に付け、実務実習を行い、更なる課題を明確にする事を目標とする。

【講義概要】

分野別のサロンの接客業務を学び、接客スキル向上させていく。また、就職に向けたサロンの研究を行い、サロン実習・モニター実習を通して自身の方向性を決定していく事を目標としている。

回 【授業計画及び学習の内容】

1	職場のモラル②	
2	マナー研修・人に与える印象と接客マナー②	※レポート①
3	モニター実習オリエンテーション②	
4	BAの接客②	
5	モニター実習1③	
6	ネイルサロンの接客②	
7	エステサロンの接客②	
8	アイケアサロンの接客②	
9	レセプション業務②	
10	モニター実習オリエンテーション③	
11	モニター実習⑥	
12	モニター実習クリティーク②	※報告書①
13	サロン実習オリエンテーション②	
14	サロン実習⑫	※報告書②
15	サロン実習 クリティーク①	

【成績評価の方法】

授業への参加を単位認定のための基礎条件とし、下記内容により評価する。

(前期)レポート①・モニター実習参加姿勢

(後期)モニター実習報告書①・サロン実習報告書②

授業における発言や態度により総合的に評価

【授業の特徴・形式と教員紹介】

講義形式で学び、ロールプレイング、グループディスカッション等、演習時間を取り入れ、サロン実習・モニター実習へ向けた授業を展開していく。担当教員は多店舗経営の美容室で人事も手掛けた経験を持つ。

教材 プリント、実習御礼

窪田理容美容専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
衛生専門課程	トータルビューティシャン科	2026年度	1年
講義区分	授業科目名	担当教員	単位数
一般教養必修	カウンセリング	藏重 他	2単位

【授業の到達目標及びテーマ】

一人一人のお客様に寄り添い、技術者としての人間力を培うことを目標とする。

【講義概要】

心や体の悩みの相談に対して真摯に向き合い、人間的な理解を深め、悩みを解決していく力と導く力を理解していく。また、社会人として必要な情報伝達能力を身につけ、人を育てる意味やモチベーションマネジメントを学んでいく。

回 【授業計画及び学習の内容】

- 1 カウンセリングの基本②
- 2 カウンセリングの技術④
- 3 カウンセリングシートの作成②
- 4 対面コミュニケーション力②
- 5 情報コミュニケーション力②
- 6 アサーティブコミュニケーション②
- 7 コーチング学⑥
- 8 モチベーション学⑥ ※まとめテスト
- 9 ソーシャルスタイル理論④

【成績評価の方法】

授業への参加を単位認定のための基礎条件とし、出席90点まとめテスト10点により評価する。

【授業の特徴・形式と教員紹介】

講義形式で学び、ロールプレイング、グループディスカッション等、演習時間を取り入れ、心理的な理解を求める授業を展開していく。担当教員はサロンでの美容師人材育成の経験をいかし、現場で必要とされる知識、接客力を教授する。

教材 プリント

窪田理容美容専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
衛生専門課程	トータルビューティシャン科	2026年度	1年
講義区分	授業科目名	担当教員	単位数
一般教養必修	ビジネス情報	一井 他	2単位

【授業の到達目標及びテーマ】

秘書検定試験に向けた対策を学ぶことで、社会人として対応できるスキルを身につけることを目標とする

【講義概要】

秘書検定試験に沿って、社会人として対応できるスキルを習得する

回 【授業計画及び学習の内容】

- 1 必要とされる資質 ②
- 2 企業の基礎知識、社会常識 ④
- 3 交際の業務 ⑥
- 4 文書の作成、取り扱い、管理 ⑧
- 5 過去問題による対策 ⑩
- 6 学力判定能力試験

【成績評価の方法】

授業への参加を単位認定のための基礎条件とし、出席40点・学力能力判定試験60点により評価する。

【授業の特徴・形式と教員紹介】

講義形式で学び、演習問題を取り入れ、検定試験に備えていく。担当教員は国際秘書科で学び信託銀行勤務の経験と長年の教員キャリアで必要とされるスキルを教授する。

教材 プリント 秘書検定教科書&問題集 3000-

窪田理容美容専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
衛生専門課程	トータルビューティシャン科	2027年度	2年
講義区分	授業科目名	担当教員	単位数
一般教養必修	ビジネス情報	一井 他	2単位

【授業の到達目標及びテーマ】

秘書検定試験に向けた対策を学ぶことで、社会人として対応できるスキルを身につけることを目標とする

【講義概要】

秘書検定試験に沿って、社会人として対応できるスキルを習得する

回 【授業計画及び学習の内容】

- 1 秘書の心構えと要求される素質、職務知識④
- 2 企業と経営④
- 3 人間関係と話し方・聞き方、敬語と接遇用語④
- 4 電話・接遇の実際③
- 5 慶事・弔事のマナー③
- 6 会議・オフィス管理③
- 7 文書の取り扱い・資料管理②
- 8 過去問題による対策⑦
- 9 学力能力試験(前期1・後期1)

【成績評価の方法】

授業への参加を単位認定のための基礎条件とし、学力能力判定試験(前期1回・後期1回)90点、授業における発言や態度(10点)を評価する。

【授業の特徴・形式と教員紹介】

講義形式で学び、演習問題を取り入れ、検定試験に備えていく。担当教員は国際秘書科で学び信託銀行勤務の経験と長年の教員キャリアで必要とされるスキルを教授する。

教材 プリント 秘書検定教科書&問題集 3000-

窪田理容美容専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
衛生専門課程	トータルビューティシャン科	2026年度	1年
講義区分	授業科目名	担当教員	単位数
一般教養必修	○日本文化	☆ 城所 他	1単位

【授業の到達目標及びテーマ】

浴衣の自装から多装における着付け、立て矢帯、ふくら雀帯、二重太鼓帯の帯結びの技術を習得する事を目標としている

【講義概要】

礼儀作法と共に日本の伝承美である着付の基礎を学び、自己表現力を培い、着付けの帯の結び方を表現していく

回 【授業計画及び学習の内容】

- 1 着物の知識 ⑧
- 2 浴衣の自装 ②
- 3 他装 補正 ①
- 4 他装 肌着から長襦袢 ①
- 5 他装 着物の着付け ②
- 6 他装 帯結び・二重太鼓 ②
- 7 他装 帯結び・立て矢 ②
- 8 他装 帯結び・ふくら雀 ②
- 9 着付けデモンストレーション ③
- 10 小物の知識 ②
- 11 日本髪 of 知識 ②
- 12 帯結び試験 ③

【成績評価の方法】

授業への参加を単位認定のための基礎条件とし、帯結びの試験により評価する。

【授業の特徴・形式と教員紹介】

着物の知識を講義形式で学び、自装、多装を習得し、3種類の帯結びの技術を実習形式で習得する。
担当教員は、結婚式場の婚礼部の勤務経験、美容室での勤務経験をいかし、高度な技術を教授する。

教材 プリント

窪田理容美容専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
衛生専門課程	トータルビューティシャン科	2026年度	1年
講義区分	授業科目名	担当教員	単位数
一般教養必修	ファッション総合	松永 他	1単位

【授業の到達目標及びテーマ】

- ・色彩論の基礎を学びながら、実践的な造形表現力を身に付けることを目的とする。
- ・礼装の基本を学ぶ事を目的とする。
- ・美への印象を探求する力をつけることを目的とする。

【講義概要】

色彩の心理的効果や視覚効果、配色・コーディネート基礎などを学びつつ、混色のやり方や色彩構成などの基礎技術を学ぶ。
和装、洋装の礼装を学びTPOの理解を深める。
美意識を高め、印象に残すテクニックを研究していく。

回 【授業計画及び学習の内容】

- 1 イントロダクション、色の仕組みについて・トーン表の作成
- 2 色相・明度・彩度のプリント作成・色の心理的効果について
- 3 ミニテスト、色の視覚効果(対比・同化)・錯視について(「美容とデザイン」について含む)
- 4 配色について・Work Paperの作成
- 5 ミニテスト、Work Paperの作成・色相環の作成、混色について
- 6 色相環の作成・色彩構成
- 7 色彩構成
- 8 まとめ
- 9 和装の礼装1
- 10 和装の礼装2
- 11 洋装の礼装1
- 12 洋装の礼装2
- 13 美意識について1
- 14 美意識について2
- 15 美意識について3
- 16 まとめ

【成績評価の方法】

授業への参加を単位認定のための基礎条件とし、下記内容により評価する。
ミニテスト及び授業態度により総合的に評価

【授業の特徴・形式と教員紹介】

- ①造形心理学では毎回プロジェクターにて資料投影(プリント配布)、実習と演習にて理解を深めていく。担当教員は、画家、イラストレーターとして活躍、大学での講師経験を活かし教授する
- ②礼装、美意識は講義形式でプロジェクターを使い、ヴォーグのファッションフォトを研究していく。担当教員は、15年以上の結婚式場の婚礼部の勤務経験をいかし、高度な技術を教授する

教材 プリント 文化論教科書 880- 造形デッサン諸費用 色彩教材

窪田理容美容専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
衛生専門課程	トータルビューティシャン科	2027年度	2年
講義区分	授業科目名	担当教員	単位数
一般教養必修	ファッション総合	藏重 他	1単位

【授業の到達目標及びテーマ】

- ・ファッションの歴史を理解する事を目標とする。
- ・デッサンを通してものを正確にみる力を養い、的確な判断(一人一人に合う髪型等について)が出来るようになる。
- ・ヘアデザイン画において創作的な技術を身に付け、ヘアデザイン画が描けるようになる。

【講義概要】

明治時代からのファッションを学ぶ。デッサンの基礎技術を学ぶ。

回 【授業計画及び学習の内容】

- 1 授業内容について、顔のパーツの位置づけの数字的な考え方について、目と鼻のトレース練習
- 2 唇と輪郭のトレース練習
- 3 斜め顔、横顔など正面顔以外の描き方、それぞれの角度をトレース練習
- 4 髪の毛の描き方のトレース練習、教科書を参考に顔と髪を描き提出
- 5 課題について説明、課題の下準備、構図についての説明
- 6 課題の続き、描き方のポイントなど随時説明
- 7 課題の続き、早く進んでいる生徒へヘアデザイン画の課題追加
- 8 課題の仕上げ 仕上げのポイントについて ※デッサン画提出①
- 9 ファッションの歴史を学ぶ・明治時代から昭和の髪型
- 10 ファッションの歴史を学ぶ・明治時代から昭和のメイク
- 11 ファッションの歴史を学ぶ・明治時代から昭和の服装
- 12 ファッションの歴史を学ぶ・1945～1950年代 ※レポート①
- 13 ファッションの歴史を学ぶ・1960～70年代
- 14 ファッションの歴史を学ぶ・1980～1990年代
- 15 ファッションの歴史を学ぶ・2000年代～ ※レポート②

【成績評価の方法】

授業への参加を単位認定のための基礎条件とし、下記内容により評価する。

(前期)教科書を参考にした顔、髪、髪型のデッサンを提出

(後期)レポート2回

各提出物、ミニテスト及び授業態度により総合的に評価

【授業の特徴・形式と教員紹介】

①ファッション史では、映像、プリントを使った講義形式を基本とする。担当教員は長年美容学校で文化論を教授している。

②デッサンでは、教科書のイラストをもとに基礎を学び、実技形式で課題の作品は写真を元に時間をかけじっくりと取り組んでいく。担当教員は美術大学を卒業、15年以上の美容室経営の経験をいかし、心理作用を分かりやすく教授する。

教材 プリント 文化論教科書 880- 造形デッサン諸費用

窪田理容美容専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
衛生専門課程	トータルビューティシャン科	2026年度	1年
講義区分	授業科目名	担当教員	単位数
一般教養必修	総合学習	斉藤 他	3単位
【授業の到達目標及びテーマ】			
様々な知識に触れ、業界に求められている知識を研究する力を培う事を目的とする。			
【講義概要】			
オムニバス形式の授業で、様々な分野の興味喚起から、研究に勤しむ。			
回	【授業計画及び学習の内容】		
1	環境教育（悪徳商法、賃金、年金、選挙、SNSについて）⑨		
2	BWJ ⑥	※報告書①	
3	ボランティア活動⑥	※報告書②	
4	美容保健・皮膚科学 ⑮	※学力能力判定試験①	
5	人権教育(SDGsへの取り組み)③		
6	ジョブパス3級・2級 ⑰		
7	化粧品学・化粧品学⑳	※学力能力判定試験②	
8	就職セミナー ④		
【成績評価の方法】			
授業への参加を単位認定のための基礎条件とし、下記内容により評価する。 (前期)報告書①②・学力能力試験① (後期)学力能力試験② 各提出物及び授業態度により総合的に評価			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
企業や団体からの講師を招いて、様々な分野について講義・実験・実習を通してオムニバス形式で学び、統括的に指導経験や豊かな教員が教授する。			
教材 プリント 保健教科書 737- 化粧品学教科書 737- 企業御礼			

窪田理容美容専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
衛生専門課程	トータルビューティシャン科	2027年度	2年
講義区分	授業科目名	担当教員	単位数
一般教養必修	総合学習	斉藤 他	3単位
【授業の到達目標及びテーマ】			
<p>・様々な美容の知識に触れ、業界に求められている知識を研究する力を培う事を目的とする。 ・1年次に学んだ基礎を応用へとつないでいく事を目的とする。</p>			
【講義概要】			
オムニバス形式の授業で、1年次の基礎をもとに様々な知識を探求していく。			
回	【授業計画及び学習の内容】		
1	就職セミナー ⑩		
2	BWJ見学⑤ ※報告書①		
3	ボランティア活動⑮		
4	ジョブパス2級 ⑳ ※学力能力判定試験(前期1後期1)		
5	テーブルマナー ③		
6	海外研修(事前学習1 研修18 事後学習1) ㉑		
7	またはサロン研修 ㉑		
【成績評価の方法】			
<p>授業への参加を単位認定のための基礎条件とし、下記内容により評価する。 (前期)報告書①・学力能力判定試験① (後期)学力能力判定試験② 各提出物及び授業態度により総合的に評価</p>			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
<p>企業や団体からの講師を招いて、様々な分野について講義・演習・実習を通してオムニバス形式で学び、統括的に指導経験や豊かな教員が教授する。</p>			
教材 プリント テーブルマナー ○○- 企業御礼			

窪田理容美容専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
衛生専門課程	トータルビューティシャン科	2026年度	1年
講義区分	授業科目名	担当教員	単位数
専門教育必修	総合技術	出崎 他	8単位

【授業の到達目標及びテーマ】

様々な美容の技術に触れ、知識と技能を習得する事で、業界に求められている技術を研究する力を培う事を目的とする。

【講義概要】

オムニバス形式の授業で、トータル美容技術の興味喚起を行い、苦手分野を克服しながら、研究に勤しむ。

回 【授業計画及び学習の内容】

- 1 美容用具について(ライトドライヤー、BG脱毛、教材説明) ⑦
- 2 ハンドマッサージ・ハンドケア理論と実践 ②③
- 3 デモンストレーション(メイク、ラグゼ、カラーセミナー、サロン) ⑫
- 4 まとめ髪 ⑮ ※技術能力判定試験①
- 5 スキンケア理論 (肌診断、機器実践) ⑩
- 6 スキンケアアプローチ ⑭
- 7 フォト講座と実践 ②
- 8 美容業界によるプレゼンテーション ⑧
- 9 ヘルスビューティ (栄養学、ダイエット学、ボディエステ、骨格矯正) ⑳
- 10 ヘルスビューティ (トレーニングと健康、ヨガ、タイ古式) ⑯
- 11 ヘアショーの実践 ⑱ ※作品課題①
- 12 ヘアショーの鑑賞 ⑥
- 13 アロマセラピー⑮ ※学力能力判定試験①
- 14 コンテスト指導⑮
- 15 技術コンテスト⑥ ※作品課題②
- 16 ビューティアドバイス(化粧品検定3級対策、化粧品検定2級対策、JMA対策) ④③ ※学力能力判定試験②

【成績評価の方法】

授業への参加を単位認定のための基礎条件とし、下記内容により評価する。

(前期)技術能力判定試験①・作品課題①

(後期)学力能力試験①②・作品課題②

各提出物及び授業態度により総合的に評価

【授業の特徴・形式と教員紹介】

企業や団体からの講師を招いて、様々な分野について講義・演習・実習・実験を通してオムニバス形式で学び、コンテストやヘアショーの指導経験や豊かな教員が教授する。

教材 プリント 企業御礼 スキンケア商材 まとめ髪ウィッグ、コーム、アイロン、ピンセット、頭毛化粧品
アロマ教材 テキスト4110- 化粧品検定テキスト 4300- JMA知識検定対策 2530-
美肌検定試験テキスト 1320-

窪田理容美容専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
衛生専門課程	トータルビューティシャン科	2027年度	2年
講義区分	授業科目名	担当教員	単位数
専門教育必修	総合技術	佐々木 他	6単位

【授業の到達目標及びテーマ】

- ・様々な美容の技術に触れ、知識と技能を習得する事で、業界に求められている技術を研究する力を培う事を目的とする。
- ・1年次に学んだ基礎を応用へとつないでいく事を目的とする。

【講義概要】

オムニバス形式の授業で、1年次の基礎をもとに知識、技術ともに探求していく。

回 【授業計画及び学習の内容】

- | | | |
|----|--|------------|
| 1 | デモンストレーション(着付け、カット、メイクラグゼ、エステ、ネイルエキスポ) ⑪ | |
| 2 | まとめ髪(アップスタイル) ⑮ | ※技術能力判定試験① |
| 3 | ビューティアドバイス (化粧品検定2級・JMAメイクアップ知識検定) ⑧ | |
| 4 | サロNSTAイルISTによるプレゼンテーション④ | |
| 5 | ヘルスビューティ (トレーニングと健康) ⑧ | |
| 6 | リフレクソロジー ⑧ | |
| 7 | アロマセラピー ⑮ | |
| 8 | ヘアショーの実践 ⑳ | ※作品課題① |
| 9 | ヘアショー鑑賞 ⑥ | |
| 10 | コンテスト指導⑨ | |
| 11 | 技術コンテスト当日⑥ | ※作品課題② |
| 12 | ケースヒストリー ⑱ | |
| 13 | ブライダルの知識と技術 ⑳ | |
| 14 | ブライダル・ブーケの作成 | |
| 15 | ブライダル・洋装ヘア、メイク | |
| 16 | ブライダル・和装ヘア、メイク | |
| 17 | ブライダル検定・筆記対策 | |
| 18 | ブライダル検定 | ※技術能力判定試験② |

【成績評価の方法】

授業への参加を単位認定のための基礎条件とし、下記内容により評価する。

(前期)技術能力判定試験①・作品課題①

(後期)技術能力試験②・作品課題②

【授業の特徴・形式と教員紹介】

企業や団体からの講師を招いて、様々な分野について講義・演習・実習を通して学び、コンテストやヘアショーの指導経験や豊かな教員が教授する。

教材 プリント 企業御礼

窪田理容美容専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
衛生専門課程	トータルビューティシャン科	2026年度	1年
講義区分	授業科目名	担当教員	単位数
専門教育必修	メイク技術	柴田 他	3単位

【授業の到達目標及びテーマ】

メイクアップの理論として技術を習得するとともに顔の形態を理解し、メイクアップ検定3級、2級の資格取得を目標とする。

【講義概要】

メイクの基礎知識と技術を習得した後、顔の形態と心理の両面から分析し、体系的にまとめあげた化粧学を学ぶ。更に、2級検定に対応したテクニクを習得し、より質の高い作品を制作する。

回 【授業計画及び学習の内容】

- 1 教材準備、皮膚のメカニズムと基礎化粧品について、box中身準備、机上道具配置、モデルさんへ気配り
- 2 スキンケア オイルクレンジング ～ スキンケア 顔全体・ポイント(口/目/眉)
- 3 ベースメイクアップ
- 4 ポイントメイクアップ
- 5 目の強調メイクアップ
- 6 メイク検定3級模擬練習
- 7 メイクアップ検定試験3級試験・㉓ ※技術能力判定試験①
- 8 顔の形態と心理分析
- 9 4つのタイプ分析
- 10 モデルによる分析メイク ⑫
- 11 モードメイクアップ
- 12 修正メイク
- 13 ベースメイク・艶メイク
- 14 トレンドメイク
- 15 メイク検定2級模擬練習
- 16 メイクアップ検定試験2級試験 ⑭ ※技術能力判定試験②
- 17 JMAメイクアップ検定指導 ③
- 18 作品制作 ⑮

【成績評価の方法】

授業への参加を単位認定のための基礎条件とし、技術能力判定試験(前期1・後期1)により評価する。

【授業の特徴・形式と教員紹介】

講義・実習形式で学び、演習を取り入れ、検定試験に備えていく。担当教員はヘアメイクの経験を基盤に15年以上の教授経験を持つ

教材 プリント メイク教材

窪田理容美容専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
衛生専門課程	トータルビューティシャン科	2027年度	2年
講義区分	授業科目名	担当教員	単位数
専門教育必修	メイク技術	柴田 他	2単位

【授業の到達目標及びテーマ】

特殊メイク、エアブラシのテクニックを習得し、芸術的な要素の高いメイクを施すことを目標とする。

【講義概要】

雑誌、CM等のメイクを研究し、特殊メイク技術、エアブラシによる高度なメイク技術を習得し、独自のデザイン性を追求し作品を制作する。

回 【授業計画及び学習の内容】

- 1 エアブラシの基本②
- 2 エアブラシによるカバーメイク②
- 3 エディトリカルメイク④ ※作品課題①
- 4 JMAメイクアップ検定指導④
- 5 特殊メイク① ※作品課題②
- 6 特殊メイク作品製作⑥ ※作品課題③
- 7 ビューティフォトの実践 ⑨
- 8 作品制作⑫ ※作品課題④

【成績評価の方法】

授業への参加を単位認定のための基礎条件とし、4作品を評価する。

【授業の特徴・形式と教員紹介】

講義・実習形式で学び、演習を取り入れ、検定試験に備えていく。担当教員はヘアメイクの経験を基盤に15年以上の教授経験を持つ

教材 プリント エアブラシメイク教材 特殊メイク教材

窪田理容美容専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
衛生専門課程	トータルビューティシャン科	2026年度	1.2年
講義区分	授業科目名	担当教員	単位数
専門教育必修	ネイル技術	小宮 他	2.5単位

【授業の到達目標及びテーマ】

感染症、消毒などの衛生の基本を学び、ネイルの基本的な知識、技術を身につけ、検定試験3級の合格を目標とする。

【講義概要】

3級検定試験に向けたネイルの基礎知識、基礎技術を身につける。試験から2級への課題を明確にし、上級へ進む。

回 【授業計画及び学習の内容】

- 1 ネイルの知識
- 2 用具の取り扱いと使用方法、プロセスの理解
- 3 テーブルセッティング
- 4 ファイリング、プッシャーテクニック
- 5 カットスタイル
- 6 プッシャーテクニック
- 7 ニッパーテクニック
- 8 ブラシダウン・ガーゼ
- 9 フラワーのアート
- 10 ポリッシュ塗布
- 11 3級検定対策
- 12 試験振り返り 60 ※技術能力判定試験
- 13 2級検定に向けたオリエンテーション
- 14 ネイル2級対策 15

【成績評価の方法】

授業への参加を単位認定のための基礎条件とし、下記内容により評価する。

(前期)技術能力判定試験①

(後期)検定試験結果及び授業態度により総合的に評価

【授業の特徴・形式と教員紹介】

講義・実習形式で学び、演習を取り入れ、検定試験に備えていく。担当教員は美容サロン勤務の経験を踏まえ、即戦力となるネイリスト養成の観点から授業を行う

教材 プリント ネイル教材 2級まで

窪田理容美容専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
衛生専門課程	トータルビューティシャン科	2027年度	2年
講義区分	授業科目名	担当教員	単位数
専門教育必修	ネイル技術	小宮 他	2.5単位
【授業の到達目標及びテーマ】			
1年次に学んだ基礎から2級検定資格の取得を目標とする。			
【講義概要】			
1年次に習得した技術を更に向上させ2級検定資格に向けて習熟していく。高度なネイル技術を修得し、感性豊かな作品を制作する。			
回	【授業計画及び学習の内容】		
1	セッティングとケア技術		
2	カラーリング		
3	チップ&ラップ		
4	ネイルアート		
5	2級検定内容の反復練習		
6	2級対策45	※技術能力判定試験①	
7	作品制作30	※作品課題①	
【成績評価の方法】			
授業への参加を単位認定のための基礎条件とし、下記内容により評価する。 (前期)技術能力判定試験① (後期)作品課題①			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
講義・実習形式で学び、演習を取り入れ、検定試験に備えていく。担当教員は美容サロン勤務の経験を踏まえ、即戦力となるネイリスト養成の観点から授業を行う			
教材 プリント ネイル教材 2級まで			

窪田理容美容専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
衛生専門課程	トータルビューティシャン科	2026年度	1年
講義区分	授業科目名	担当教員	単位数
専門教育必修	〇ヘアケア技術	☆ 一井 他	3単位
【授業の到達目標及びテーマ】			
毛髪についての基礎知識を学び、サロンにおけるシャンプー技術、ヘアケア技術を習得する。ヘアケア、スタイリング剤についての知識を学び、適切な化粧料の選択力を培う。			
【講義概要】			
<ul style="list-style-type: none"> ・毛髪、頭皮の基礎知識の習得後、サロンの様々なシャンプー技術を相モデルにて実習。 ・スカルプマニピュレーション技術により頭皮の健康を図る。 ・ブローセットを通して適切なスタイリング剤を選択する力を身につける。 			
回	【授業計画及び学習の内容】		
1	頭毛について⑤		
2	シャンプー理論⑤		
3	サイドシャンプー実習⑮ ※技術能力判定試験①		
4	バックシャンプー実習⑫		
5	クリームバス実習⑮ ※技術能力判定試験②		
6	アイブロウケア⑳ ※技術チェック①		
7	セット剤について③		
8	化粧料とブロー⑨		
【成績評価の方法】			
授業への参加を単位認定のための基礎条件とし、 前期)技術能力判定試験① 後期)技術能力判定試験②・アイブロウ技術チェック①により評価する。			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
講義・実習形式で学んでいく。担当教員は美容サロン勤務の経験を踏まえ、長年の教授経験を持つ。			
教材 プリント シャンプー&トリートメント クリームバス商材 ヘアスタイリング剤			

窪田理容美容専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
衛生専門課程	トータルビューティシャン科	2027年度	2年
講義区分	授業科目名	担当教員	単位数
専門教育必修	○ヘアケア技術	☆ 入口 他	3単位

【授業の到達目標及びテーマ】

- ・肌診断から適切な脱毛法を理解し、安全な施術が出来る技術力を身につける。
- ・毛髪を診断する力を身に着ける。
- ・積極的なケアによる施術前と施術後の頭毛の状態を理解し、説明できる力を身につける。

【講義概要】

- ・脱毛の基礎知識の習得後、ワックスと光の脱毛技術を相モデルにて実習。
- ・毛髪の状態を診断できる知識と技術を身につける。
- ・ヘアカラーやパーの技術により損傷された頭髪の修復技術を身につける。

回 【授業計画及び学習の内容】

- | | | |
|---|--------------|------------|
| 1 | 化粧品とセット剤⑫ | |
| 2 | 脱毛理論⑥ | ※学力能力判定試験① |
| 3 | ワックス脱毛 ⑩ | ※技術能力判定試験① |
| 4 | 光脱毛理論⑥ | |
| 5 | 光脱毛実習 ⑫ | ※技術能力判定試験② |
| 6 | ヘアセット技術⑥ | |
| 7 | 毛髪診断⑫ | ※学力能力判定試験② |
| 8 | ダメージヘアの修復技術⑨ | |

【成績評価の方法】

授業への参加を単位認定のための基礎条件とし、
前期)学力能力判定試験①・技術能力判定試験①
後期)学力能力判定試験②・技術能力判定試験②により評価する。

【授業の特徴・形式と教員紹介】

講義・実習形式で学んでいく。担当教員はエステサロン勤務の経験を踏まえ、教授経験を持つ。

教材 プリント 脱毛商材 ヘアトリートメント商材

窪田理容美容専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
衛生専門課程	トータルビューティシャン科	2026年度	1年
講義区分	授業科目名	担当教員	単位数
専門教育必修	検定対策	城所 他	1単位

【授業の到達目標及びテーマ】

様々な資格検定試験の過去問題から出題傾向を見極め、合格に向けたを講義する事を目的とする。

【講義概要】

各資格試験の対策授業を講じる。

回 【授業計画及び学習の内容】

- 1 メイクアップ3級試験対策④
- 2 JNECネイル3級検定試験対策⑦ ※まとめテスト①
- 3 アロマ検定2級検定試験対策④
- 4 メイクアップ2級試験対策④
- 5 秘書検定3級試験対策⑪ まとめテスト②

【成績評価の方法】

授業への参加を単位認定のための基礎条件とし、まとめテスト(前期1後期1)及び授業態度により総合的に評価

【授業の特徴・形式と教員紹介】

講義、演習問題への取り組みで学んでいく。担当教員は教授経験を持ち、各資格試験の対策に熟知している。

窪田理容美容専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
衛生専門課程	トータルビューティシャン科	2027年度	2年
講義区分	授業科目名	担当教員	単位数
専門教育必修	検定対策	城所 他	1単位

【授業の到達目標及びテーマ】

様々な資格検定試験の過去問題から出題傾向を見極め、合格に向けたを講義する事を目的とする。

【講義概要】

核資格試験の対策授業を講じる。

回 【授業計画及び学習の内容】

- | | | |
|---|----------------|------------|
| 1 | 日本化粧品検定2級対策⑤ | ※学力能力判定試験① |
| 2 | JMA知識検定試験対策⑥ | ※学力能力判定試験② |
| 3 | JNECネイル2級試験対策④ | |
| 4 | ジョブパス2級対策⑤ | |
| 5 | 美肌検定試験対策⑥ | ※まとめテスト① |
| 6 | 秘書検定2級試験対策④ | |

【成績評価の方法】

授業への参加を単位認定のための基礎条件とし、
前期)学力能力判定試験①②
後期)まとめテスト①により評価

【授業の特徴・形式と教員紹介】

講義、演習問題への取り組みで学んでいく。担当教員は教授経験を持ち、各資格試験の対策に熟知している。

窪田理容美容専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
衛生専門課程	トータルビューティシャン科	2027年度	2年
講義区分	授業科目名	担当教員	単位数
専門教育必修	美容医療	入口 他	2単位

【授業の到達目標及びテーマ】

医療で実施されている美容技術の現状を把握し、実際にサロンを訪れる事で医療との境界線を理解する事を目的とする。

【講義概要】

- ・医療現場の美容施術について理解する。
- ・クリニックを訪問し、美容と医療の共存の展望を研究する。
- ・医療で実施されているウィッグの現状やアロマ療法について学ぶ。

回 【授業計画及び学習の内容】

- 1 美容医療概論②
- 2 美容に関する医事法制概論①
- 3 美容における鍼灸のあり方③
- 4 美容医療における発声学③
- 5 美容医療の皮膚学③
- 6 美容に効果的な栄養療法、サプリメント③
- 7 手技、美容特論、美容遠赤外機器③
- 8 漢方(東洋医学・漢方薬)③
- 9 クリニック視察③
- 10 医療用ウィッグの知識と取り扱い③ ※報告書①
- 11 医療現場でのアロマ療法③

【成績評価の方法】

授業への参加を単位認定の基礎条件とし、出欠80点・報告書①20点により評価する。

【授業の特徴・形式と教員紹介】

講義形式で学んでいく。担当教員は企業からの講師で、美容医療の現場について詳しく教授する。

教材 プリント ワーム依頼費 レジーナ商材・テキスト

窪田理容美容専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
衛生専門課程	トータルビューティシャン科	2026年度	1年
講義区分	授業科目名	担当教員	単位数
専門教育選択	選択実習・エステ	(WEBへの氏名・プロフィール等の公開は希望いたしません)	5単位

【授業の到達目標及びテーマ】

- ・日本エステティック協会認定試験合格に向け、技術・知識ともに身につける事を目的とする。
- ・マッサージの基本である7手技(6手技)の効果目的を正しく理解し習得する事を目的とする。
- ・お客様に対し、目配り気配り心配りを意識しホスピタリティマインドを身に付ける。

【講義概要】

エステの認定試験に向けた知識を十分に理解する事で、基礎的技術を習熟し、安全かつ衛生面を考慮した授業を展開し、質の高いエステティシャンを育成する。

回 【授業計画及び学習の内容】

- 1 エステティック概論 ⑥
- 2 ボディ理論 ⑥
- 3 ボディ実習 前半 ⑭
- 4 ボディ試験 ③ ※技術能力判定試験①
- 5 衛生・消毒 ④ ※まとめテスト①
- 6 運動生理学 ⑥ ※まとめテスト②
- 7 フェイシャル理論 ⑥
- 8 フェイシャル実習 前半 ⑰
- 9 関連法規 ⑥
- 10 ボディ実習 後半 ⑰
- 11 エステティック機器学 ⑥ ※まとめテスト③
- 12 フェイシャル実習 後半 ⑱
- 13 フェイシャル試験 ④ ※技術能力判定試験②

【成績評価の方法】

授業への参加を単位認定のための基礎条件とし、下記内容により評価する。

(前期)技術能力判定試験①・まとめテスト①②

(後期)まとめテスト③・技術能力判定試験②により評価

【授業の特徴・形式と教員紹介】

講義・実習形式で学び、演習を取り入れ、検定試験に備えていく。担当教員はエステ企業の教育部で経験を積み、専門学校での教授経験を持つ。

教材 プリント テキスト14600- ボディ・フェイシャル商材

窪田理容美容専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
衛生専門課程	トータルビューティシャン科	2027年度	2年
講義区分	授業科目名	担当教員	単位数
専門教育選択	選択実習・エステ	(WEBへの氏名・プロフィール等の公開は希望いたしません)	5単位
【授業の到達目標及びテーマ】			
<ul style="list-style-type: none"> ・センター試験合格に向けて、試験対策を行い、技術能力の向上を図ることを目的とする。 ・技術における「強弱・リズム・連続・密着」を理解し、心地よいマッサージの出来る技術力を習得することを目的とする。 ・カウンセリング力を上げ、お客様の要望にお答えできる知識を習得する事を目的とする。 			
【講義概要】			
認定試験に向けた演習を多く取り入れることで、エステティシャンとしての心構えを学び、お客様への目配り気配り心配りを身に付けていく。			
回	【授業計画及び学習の内容】		
1	カウンセリングと肌分析 4		
2	カウンセリングの実践 3		
3	ボディ実習 21		
4	フェイシャル実習 42		
5	ホメオスタシス 10		
6	認定実技試験 ボディ模擬 4	※技術能力判定試験①	
7	認定実技試験 フェイシャル模擬 4	※技術能力判定試験②	
8	解剖生理学 18		
9	試験対策 20		
10	ボディ機器 18		
11	フェイシャル応用 6		
【成績評価の方法】			
授業への参加を単位認定のための基礎条件とし、下記内容により評価する。 (前期)技術能力判定試験①② (後期)各提出物及び授業態度により総合的に評価			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
講義・実習形式で学び、演習を取り入れ、検定試験に備えていく。担当教員はエステ企業の教育部で経験を積み、専門学校での教授経験を持つ。			

窪田理容美容専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
衛生専門課程	トータルビューティシャン科	2026年度	1年
講義区分	授業科目名	担当教員	単位数
専門教育選択	選択実習・ビューティ総合1	小宮 他	5単位

【授業の到達目標及びテーマ】

- ・ジェルネイル検定初級の範囲を包括しつつ、ジェルネイルに関する技術全般を習得する事を目的とする。
- ・検定試験で要求されるレベルの商材知識、操作方法、トラブルシューティングを習得する事を目的とする。
- ・ボディメイクの知識と技術を習得する事を目的とする。

【講義概要】

ジェルネイル検定試験に向けた知識を十分に理解する事で、基礎的技術を習熟し、安全かつ衛生面を考慮した授業を展開し、質の高いネイリストを育成する。
1年次に習得したエアブラシメイクの基礎をいかし、ボディアートの技術を習得する。

回 【授業計画及び学習の内容】

1	ジェルネイル検定概要説明	カット 40
2	各商材の取り扱い方	ワインディング 40
3	クリア・カラー実技、オフの仕方デモ・実技	オリジナルセット 40
4	検定のジェルアート ※技術能力判定試験①②	
5	ピーコック・フラワーなどのジェルアート	
6	初級検定内容の反復練習	
7	検定対策 ※まとめテスト①	
8	エアブラシによるボディアート ※技術チェック①	
9	作品制作	

【成績評価の方法】

授業への参加を単位認定のための基礎条件とし、下記内容により評価する。
(前期)技術能力判定試験①・まとめテスト①
(後期)技術能力判定試験②・エアブラシ技術チェック①により総合的に評価

【授業の特徴・形式と教員紹介】

講義・実習形式で学び、演習を取り入れ、検定試験に備えていく。ネイル担当教員はネイルサロン勤務、開業の経験を踏まえ、即戦力となるネイリスト養成の観点から授業を行う。ヘア・メイク担当教員は美容サロン勤務の経験を踏まえ、長年の教授経験を持つ。

教材 プリント ボディアート商材 ジェルネイル商材またはカット、ワインディング、オリジナル教材

窪田理容美容専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
衛生専門課程	トータルビューティシャン科	2027年度	2年
講義区分	授業科目名	担当教員	単位数
専門教育選択	選択実習・ビューティ総合1	小宮 他	5単位

【授業の到達目標及びテーマ】

- ・ネイル検定1級の範囲を包括しつつ、ネイルに関する技術全般を習得する事を目的とする。
- ・検定試験で要求されるレベルの商材知識、操作方法、トラブルシューティングを習得する事を目的とする。
- ・まつ毛エクステンションの知識と技術を習得する事を目的とする。

【講義概要】

ネイル検定1級試験に向けた知識を十分に理解する事で、基礎的技術を習熟し、安全かつ衛生面を考慮した授業を展開し、質の高いネイリストを育成する。

回 【授業計画及び学習の内容】

1	ネイル検定1級の概要説明	カット 30
2	セッティングについて	ワインディング 30
3	スカルプチュア(クリア、グラデーション、フレンチ)	オリジナルセット 30
4	1級検定内容の反復練習	
5	検定対策	※技術能力判定試験①
6	作品製作	※作品課題①
7	まつ毛エクステンションとは概要30	
8	テーブルセッティング、テープワークについて	
9	施術の手順、ツィーザーワークについて	
10	理論 小テスト・マツエクのデザインについて	※技術チェック①
11	タイムアップトレーニング	

【成績評価の方法】

授業への参加を単位認定のための基礎条件とし、下記内容により評価する。
 (前期)技術能力判定試験①
 (後期)作品課題①・技術チェック① 各提出物及び授業態度により総合的に評価

【授業の特徴・形式と教員紹介】

講義・実習形式で学び、演習を取り入れ、検定試験に備えていく。ネイル担当教員はネイルサロン勤務、開業の経験を踏まえ、即戦力となるネイリスト養成の観点から授業を行う。ヘア・メイク担当教員は美容サロン勤務の経験を踏まえ、長年の教授経験を持つ。

教材 プリント ボディアート商材 ネイル1級商材またはカット、ワインディング、オリジナル教材